



週間展望

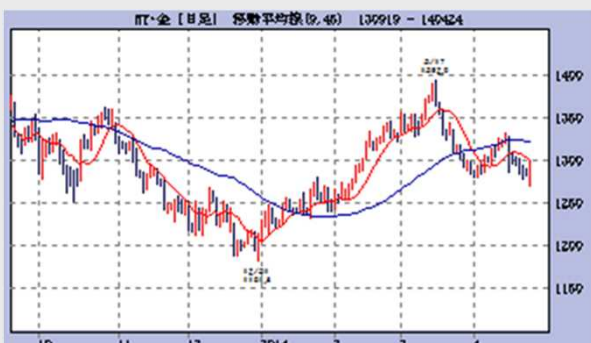
2014年4月28日の週

You can imagine the forecast of next week's futures market in only 5 minutes.

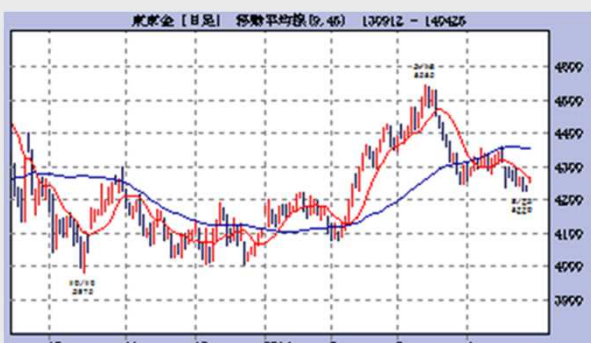
Precious Metals

発行日 2014年4月25日 (金)

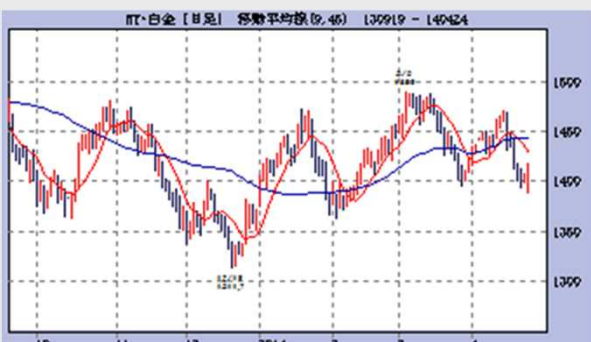
NY金チャート



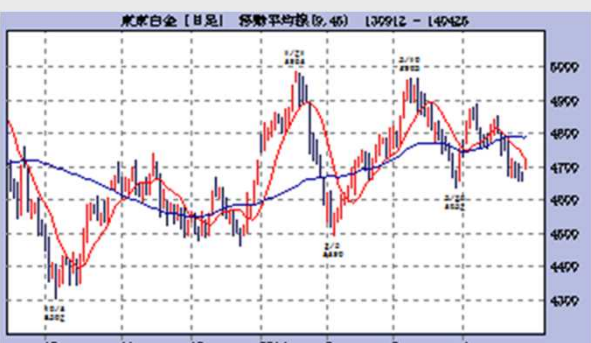
東京金チャート



NY白金チャート



東京白金チャート

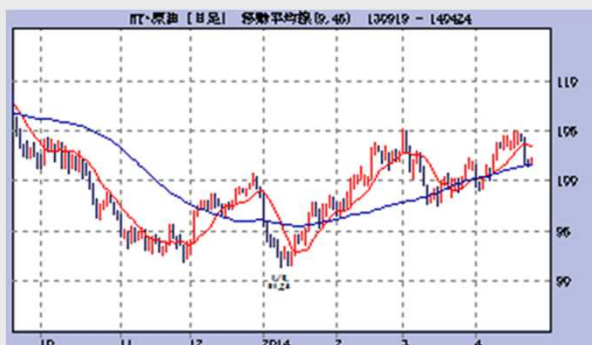


【金】金価格上昇のシナリオはウクライナではなく中国である。ウクライナ問題が先鋭化するとすれば、東ウクライナ地区での武闘がプーチン大統領の手に余るほど過激化した時である。現状では、ウクライナ政権の軍隊が親ロシア派の排除に当たり死者が数名規模で出ているに過ぎない。ロシアの軍事演習は行われ、プーチン大統領はウクライナ政府軍は違憲であると述べているものの、本格的軍事介入には及んでいない。それより、中国の土地価格下落し始めているというニュースの方が怖い。中国の住宅販売件数は確実に落ち込んでいる。1~3月期は累計で前年比▲7.7%で、新規着工面積も▲25%低下した。地方都市では住宅価格が下がり始め、1月~3月の固定資産投資は▲17.6%減と2002年以来の低水準になったがその主因は住宅投資の低迷であるという。地方都市の歳入の約38%が不動産関連とみられており、財政が行き詰まるのは時間の問題とされている。中国の不動産投資がGDPに占める割合は16%であり、2006年頃のアイランドやスペインと同じであるという。中国の金融危機は金価格に即繁栄するものと思われる。それは近い将来のことであるが、当面は4月29日~30日にかけて行われるFOMCと5月2日に発表される米国の労働指標の動きであろう。FOMCでは更に100億ドルの追加金融緩和が行われるものと予想されている。それは金価格を軟化させる要因となる。当面米国の金価格上昇要因は見当たらず、どちらかといえば金価格は方向感の無い動きに終始するようになる。予想レンジ NY金 1250ドル~1350ドル 東京金4200円~4300円

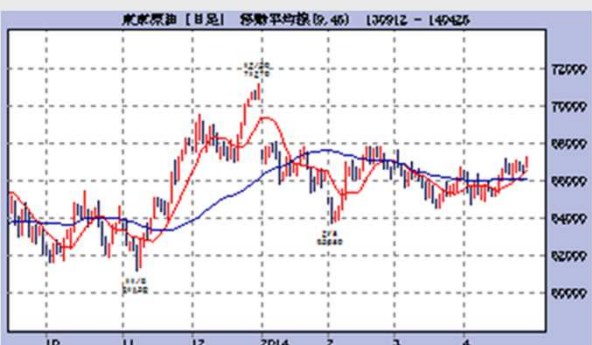
【プラチナ】先週のこの欄で、4月17日に世界最大のプラチナ鉱山会社から提案された新たな賃金協定案を紹介した。2017年までの間に地底労働者の最低賃金を1万2500ランド(月額約12万円)に引き上げるという提案であった。これを4月22日と23日の2日間に亘って労使は交渉の場についた。ところが、昨日公表されたニュースでは妥結するに至らなかったというものであった。ついにストライキは100日を超えて今年の生産不足量は30トンを超えている。更に、そろそろ現物が在庫が払底する頃が近づいている。NYプラチナ価格はこのところの南アの鉱山ストライキにほぼ正確に価格が反映している。ストが終わりそうだというニュースで下落し、妥結しなかったというニュースで反発しているが、東京市場は常に下げている。おそらく、ストが今終わらなければいずれ終わるだろうというスト終結を予測してショートを張る人が多いのであろう。東京プラチナ価格は、ストライキ発生時点の価格に戻ろうとしている。中国は3月も7.4トンのプラチナを輸入し、1月~3月のプラチナ輸入量は昨年同期の20%増となっている。昨年一年で97トンの輸入があったため、今年の需要増は、年間で20トン近くになるとと思われる。供給減の30トンと合わせると、合計で50トンの需給ギャップが産まれることになる。178トンの生産しかないところに37%の減産があったら通常の商品相場であれば、高騰しているはずである。東京プラチナ価格は理解に苦しむ。需給を正確に反映しない市場であれば、誰も寄り付かなくなり、取引はますます少なくなるだろう。プラチナ価格は上がってしかるべきである。予想レンジ NYプラチナ価格 1400ドル~1450ドル 東京プラチナ価格4700円~4900円

Oil

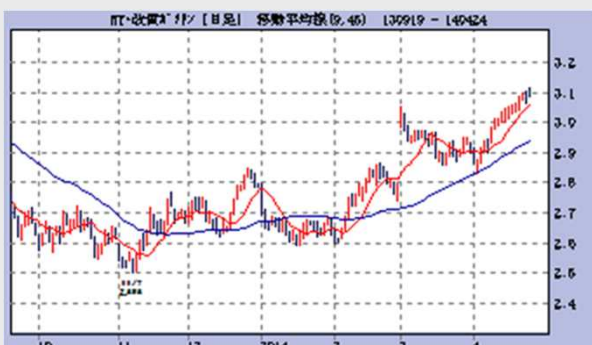
NY原油チャート



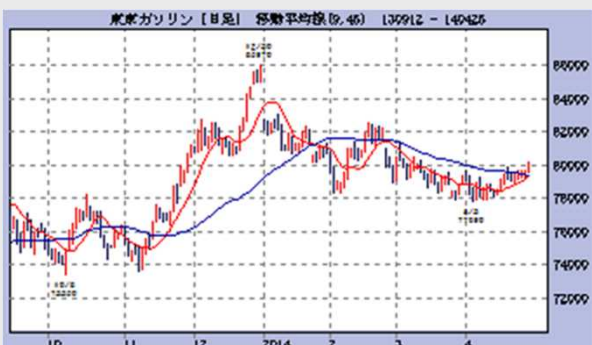
東京原油チャート



NYガソリンチャート



東京ガソリンチャート

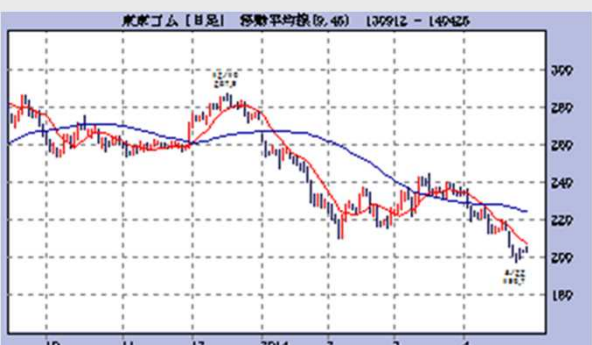


【原油】米国内原油生産量は、日量830万バレルを超えており、前年同期比+100万バレル以上の増産となっている。一方で石油精製設備稼働率は91%と非常に高く、メインテナンスに入っているとは見られない。原油輸入量は前年比▲130万バレル減少している。それでも米国の原油在庫はこの3週間、+370万、+939万、+298万バレルと大幅に増加しており、1月17日から1週を除いて13週間原油在庫は増加している。米国の石油製品出荷量は前年同期比▲84万バレル減であり米国内石油製品出荷は良くないが、石油製品輸出量は前年比+63万バレル増である。つまり米国の石油業界は国内の販売不振をガソリン輸出で補い、国内の原油生産が増加した分だけ輸入を減らしている状況である。今後ドライブシーズンに入り米国内ガソリン出荷量は増加傾向となるだろうが、まだそれが価格に反映するには早いと思われ、原油価格は100ドル前後で安定するか下落するのではないだろうか。予想レンジ NY原油価格 95ドル～105ドル 東京原油価格 66000円～68000円

【ガソリン】米国のガソリン出荷量は、前週比▲16万バレルとまだドライブシーズンは本格化していない。米エネルギー情報局によると改質ガソリン価格からブレント原油価格を差し引いたクラックスプレッドは、2月から拡大し、5月に最大となり、12月にかけて縮小していくという。それはドライブシーズンの到来や冬仕様の品質のガソリンから夏仕様のガソリンに切り替わることなどが関係しているという。全米小売レギュラーガソリン価格も例年4月初めがピークでそれ以降下落するという。今年の米国ガソリン小売価格は今が頂上付近になっている。夏場はドライブシーズンで需要が多くなるので価格は上昇するのかと思っていたが、過去の米国ガソリン小売価格は4月が頂上で秋にかけて下落する傾向となっている。そうであれば、現在のガソリン価格はそろそろピークに達し、原油価格の下落と共に今後下落すると予想する。日本の石油連盟発表の週末在庫（4月13日～19日）は前週比+1.0%増の190万8034キロリットル、推定出荷量は+15.6%増の90万6704キロリットルとなっている。日本のガソリン価格は上値があるかもしれないが、原油価格が下落するなら、それほど上昇は期待できないだろう。予想レンジ NYガソリン価格 3.0ドル～3.1ドル 東京ガソリン価格 78000円～80000円

Rubber

東京天然ゴムチャート



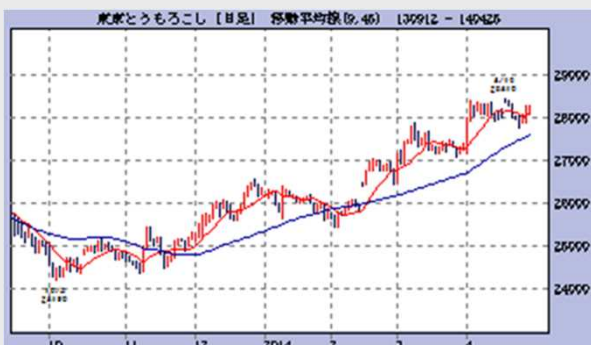
【天然ゴム】東京ゴム価格は一時200円を割りこむ水準まで下落した。産地の減産はピークに達しているが、在庫過剰感があるということであろう。実際には、日本の営業倉庫在庫は2万2千トンで3月10日から横ばいとなっており、上海期貨交易所のゴム在庫は17万トンと、旧正月前の1月31日時点の20万7658トンより▲3万7658トン減、▲18%減少している。タイ中央ゴム市場ではほとんど集荷が行われておらず、供給面での懸念材料はあるが、市場には反映されていない。市場心理としては、中国の輸入金融に不安があり、中国企業のデフォルトが恐れられている可能性はある。南米ではエルニーニョの気配はあるが、これは夏から秋にかけての問題であり、今は関係ない。当面下値を試す展開か。予想レンジ200円～210円

Grain

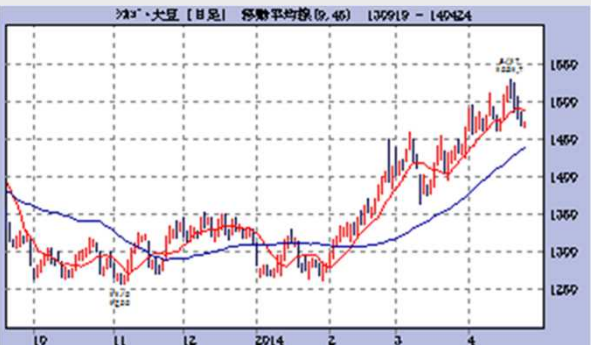
シカゴコーンチャート



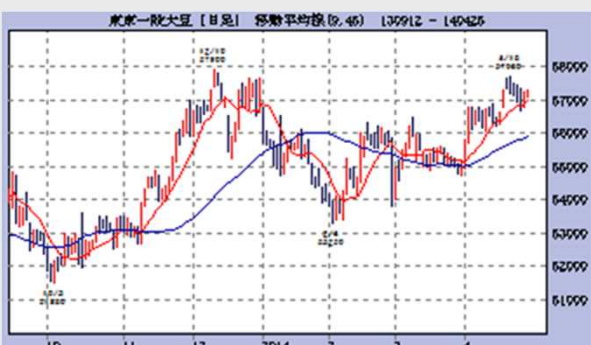
東京コーンチャート



シカゴ大豆チャート



東京一般大豆チャート

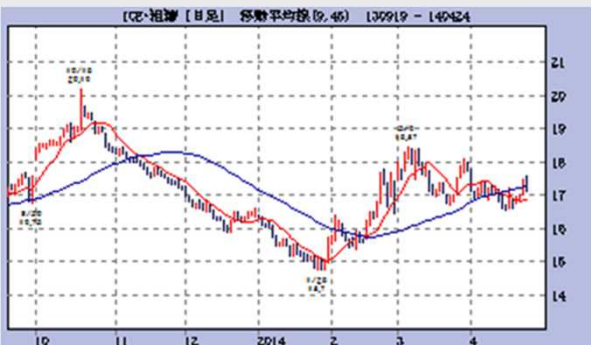


【トウモロコシ】シカゴトウモロコシ価格は500セントで横ばいとなっている。4月20日までのCrop Progressではトウモロコシの作付は6%と過去5年平均の14%よりかなり出遅れていることがわかったため、少し価格は上昇したが、その後反落している。寒波はほぼ収まっていると思われるも4月中旬まで平年より約5℃低い気温であった。ただ、土壌水分は十分あり、今のところ作付けに問題があるとの情報は聞かれない。4月10日までの週の累積輸出成約高は前年比213%であり、2倍の成約がある。メキシコが前年比2.5倍の621万トン、日本は1.3倍の593万トン、中国が9%増の367万トンを成約し、昨年輸入はほとんどなかったコロンビアが189万トン成約しており、米国産トウモロコシの輸出は今年は順調である。ファンドの建玉は、トウモロコシの場合1月28日以降ネット買い残が増加し続けており、1万3千枚から32万2千枚まで30万枚以上ネット買い残が増加しているため、少し買われ過ぎの感がある。 予想レンジ シカゴトウモロコシ価格 480セント～510セント 東京トウモロコシ価格 27000円～29000円

【大豆】シカゴ大豆価格は、4月17日の1531.7セントを天井に下落し、1472セントとなっている。大豆の期末在庫率が少ないことは既に価格に織り込み済みで、輸出が好調なこともある程度織り込み済みといえよう。4月10日までの米国産大豆の累積輸出成約高は、前年度比23.4%増で、中国向けが2151万トンと全体の66%を占めており、前年度比+29.5%増、次いでメキシコの209万トンで前年度比+11.2%増、インドネシアの167万トン、日本の131万トンと続く。インドネシアは前年比50%増で日本は1.6%増と横ばいであった。問題は最大輸入国中国の成約キャンセルがどれだけ出るかであるが、中国系輸入商社が最近デフォルトを起こしており、信用状発給が困難になる状況も想定される。既に50万トンの輸入キャンセルが出ているが、さらに規模の大きいキャンセルが出ることも想定される。そうならば、価格は天井から折り返し下落する可能性がある。ファンドの大豆に対するネット買い残は、19万4千枚と2月頃の22万8千枚よりは少なくなってきたおり、どちらかという売り手仕舞いされている。その点はトウモロコシと異なる。4月17日からの下げである程度買い残は整理されたものと思われる。今後は作付け時点の天候から7月にかけての生育がどうなるかが焦点となるだろう。予想レンジ シカゴ大豆 1400セント～1500セント 東京豆パン大豆56000円～57000円

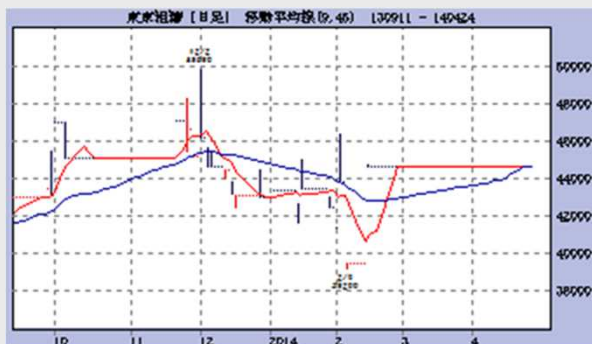
Sugar

NY砂糖チャート



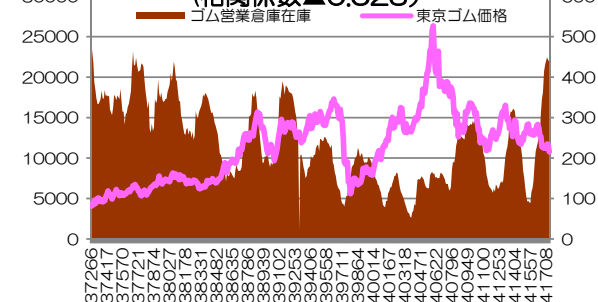
【砂糖】NY砂糖価格は17セント前後で横ばいとなっており、ブラジルの干ばつが警戒されている。ブラジルの砂糖キビ業界団体UNICAによれば、2014/15年度の同国中南部の砂糖キビ庄砕高は過去最高を記録した前年度の5億9690万トンから5億8000万トンまで▲2.8%減少するという。砂糖生産も3430万トンから3250万トンまで▲5.8%減が予想されている。ただ、世界的な余剰感が払しょくされるほどではない。1月の15セント割れで灰汁は出しきったが、まだ上昇軌道になるには材料が乏しい。

東京粗糖チャート



【砂糖】 予想レンジ NY砂糖価格 16セント～18セント

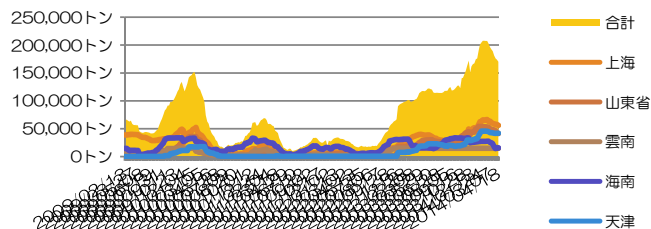
Sidebar

日本のゴム営業倉庫在庫と東京ゴム価格
(相関係数▲0.523)

出所：ゴム輸入協会

【日本のゴム在庫は増加しているが、中国のゴム在庫は減少中】

中国の天然ゴム在庫



出所：上海期貨交易所

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMi」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMiが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMiは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMiに帰属し、事前にCOMMiへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMiが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMiは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMiおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



COMMODITY
INTELLIGENCE

株式会社コモディティー インテリジェンス

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310

会社電話： 03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692

メールアドレス： kondo@commi.cc

発行元：